＜“助っ人 EV” 製作レポート＞

平成 21 年 11 月 20 日無事に「助っ人 EV」の試作車発表が執り行なわれました。

思い起こすと川崎にある東京電力技術開発研究所にて行われた初の打合せ会議に参加した時からこの「電気自動車が電池切れの電気自動車に電気を分けて救出する」と言うコンセプトのもと、事業がスタートしました。カテゴリーは「移動式急速充電車」？になるのでしょうか、なかなかこのコンセプトを理解することが最初はかなり難しかったことも事実です。実際には駆動用に搭載されているリチウム電池を他の EV に供給してあげると言うものです。EV の普及に欠かせない充電インフラの整備、そして徐々に普及を後押しする助成金や減税の浸透、間違いなく今後は着実に普及の足跡が聞こえてきています。もちろん新政権下でも環境は一番の重点事項として今後も進むことは間違いなさそうです。

そんな現状に於いてこの「助っ人 EV」の存在は、潜在的なユーザーへの「電池切れ」と言う不安を解消する大きな力となるでしょう。この世界初の試みに向けて製作チームのスタートが始まりました。

「チーム柏崎」は㈱サイカワを中心にサンワーズ・当社・柏崎商工会議所で実際の製作に携わり、最終的な実証実験までを担当します。当社はこの中でベース車両の改造後の構造変更新規検査にてナンバーの取得、車体ディカールのデザイン施行、実証実験を担当致します。2台製作された 1 台が今後、当社 SS にて配車され実証試験を行う予定となっています。

試作車が完成するまでの間はいろいろな、アクシデントがありました。特に初めての試みでもありますから、50 ナンバーのままで 4 人乗りから 2 人乗りの変更で新規にナンバーが取得出来るのか・・・・・・

この結論がでるのには 2 ヶ月以上がかかりましたが、軽自動車検査協会長岡事務所のアドバイスを頂きながら無事世界初の偉業となったわけです。

途中、施策段階での思わぬトラブルも経験しながらやっと世にでた「助っ人 EV」です。

左サイドより

リアゲートより

そして、今回の偉業とも言えるプロジェクトの総指揮をとって頂いた東京電力の姉川さんに心より感謝の意を表します。

＜助っ人 EV　製作に関わった方々＞　・・・・　皆さんご苦労様でした。

東京電力：　姉川尚史

豊田自動織機：　岩間裕之

三菱自動車工業：吉田裕明、和田憲一郎、田中貴久

ハセテック：中田昌幸、早坂和重、大戸敏行、岩室裕治

サイカワ：西川正男、相澤　隆、大橋　洋

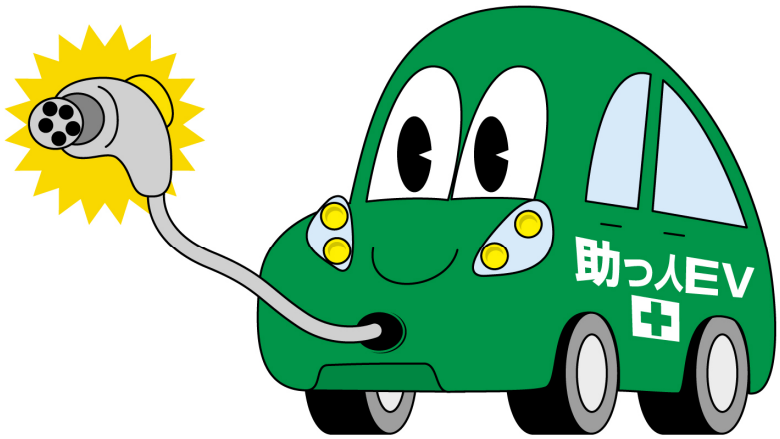
品田商会：品田庄一、小林信治

柏崎商工会議所：丸山澄雄

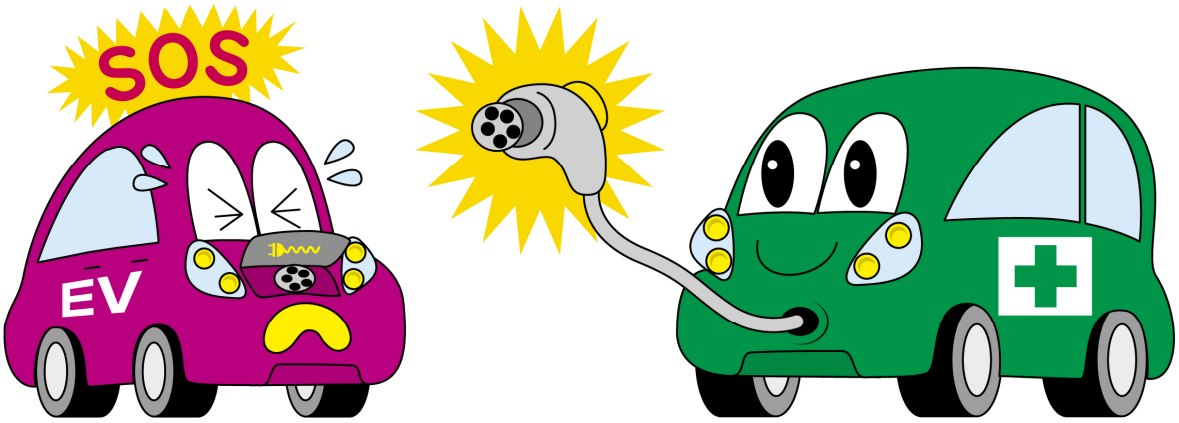
サンワーズ：三井田勝彦

NICO：横田優治、天城和哉

（順不同・敬称省略）



“助っ人 EV„



平成20年度　経済産業省「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」